

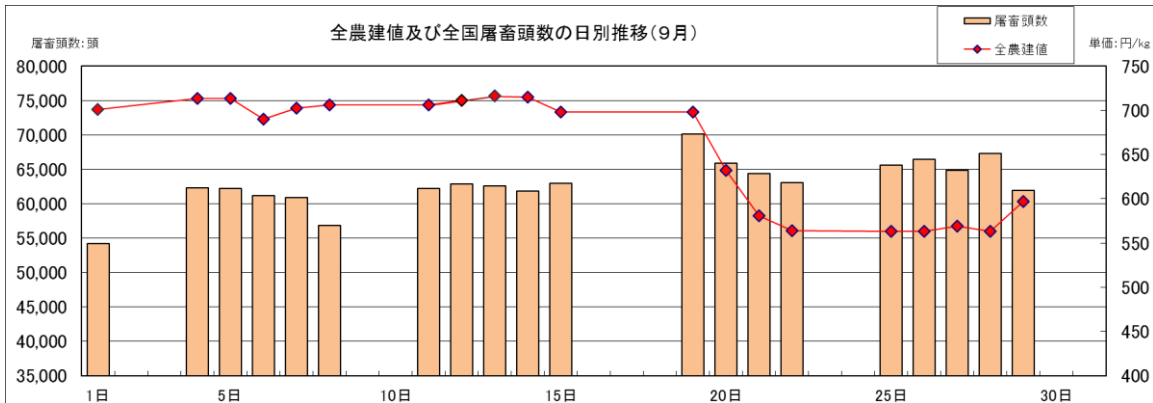
肉豚インフォメーション（9月）

● 9月の動向

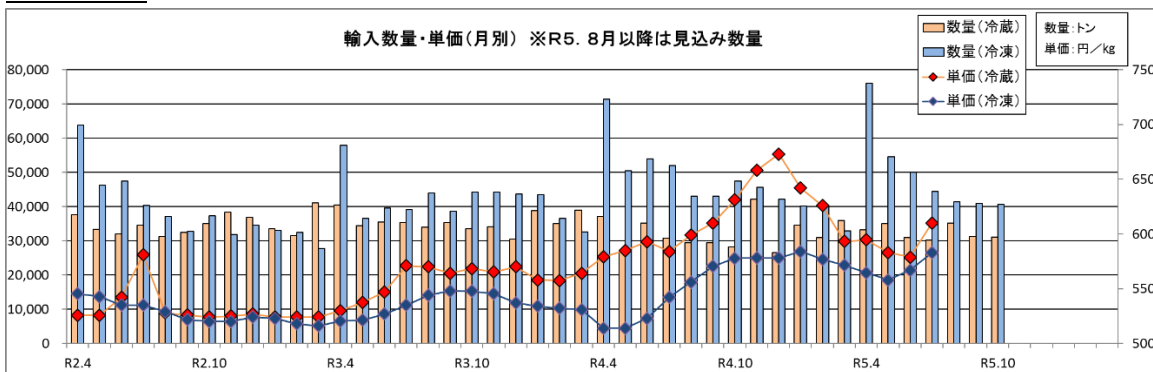
2023年9月（税抜）	2022年9月（税抜）
653円/kg（54円増）	599円/kg

※全農建値

9月になっても厳しい残暑は収まらず中旬まで出荷頭数は低調に推移する中、相場は700円前後の高値で推移し、連休明け相場を下げたものの底堅い相場展開となった。

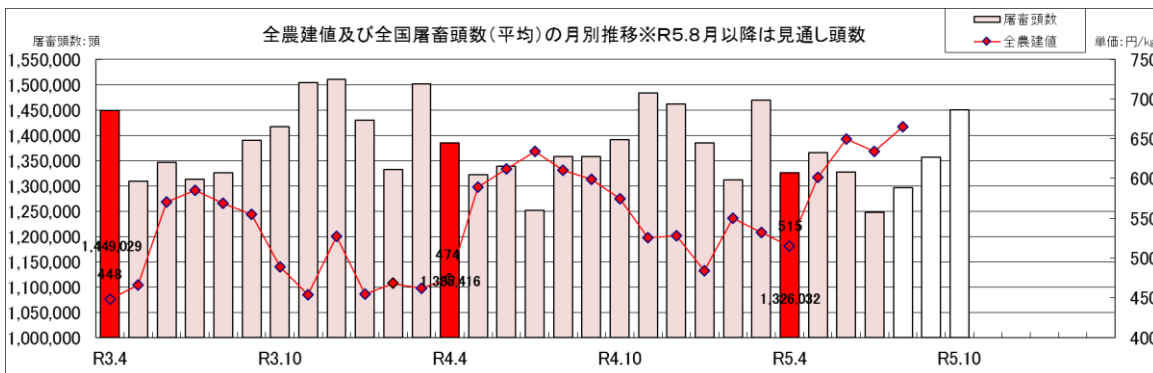


● 輸入動向



● 10月の動向

10月の出荷頭数は、前年同月をやや上回ると予測されている。



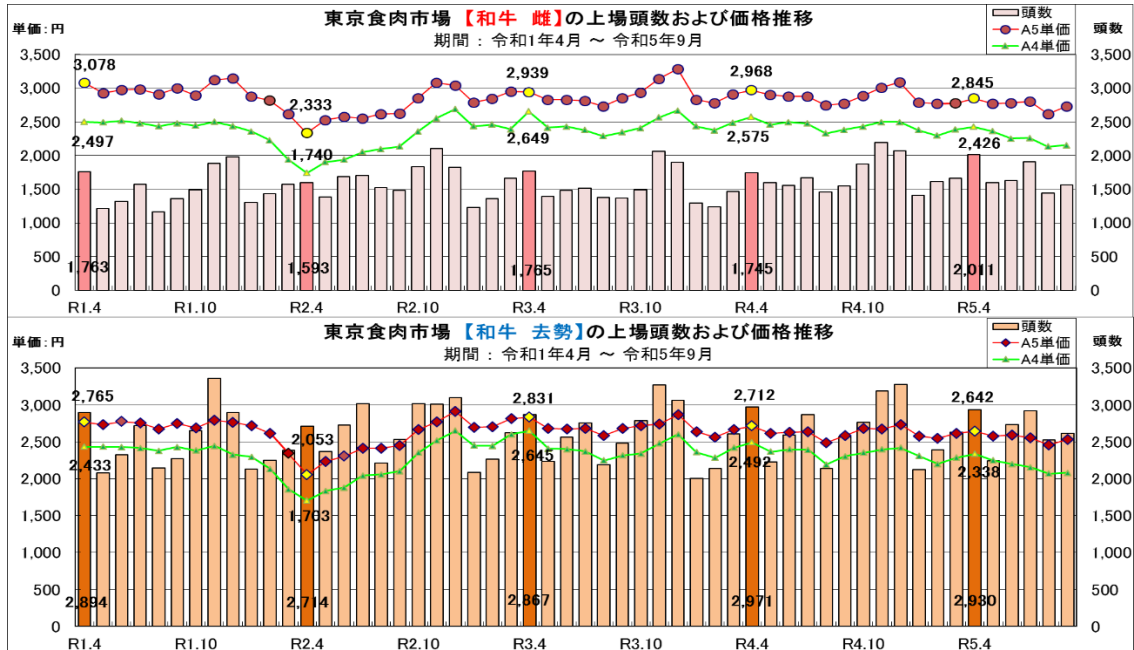
10月の相場は、底堅く推移する見通し。

全農建値（税抜）予測レンジは520円～600円とする。

肉牛インフォメーション（9月）

● 9月の動向

9月は、上旬に旧盆後の補充と月後半の3連休への期待感もあり相場はやや戻した。その後の引き合いは弱まり、もちあいから弱もちあいで推移した。



● 10月の動向予測

10月は、例年だと年末の手当てが始まり相場は徐々に上がる時期だが、今年は1月から低い相場で推移している。上旬はもちあいで推移しても、下旬にかけては軟調の展開と予想。

10月相場は「もちあい」の展開と予想。

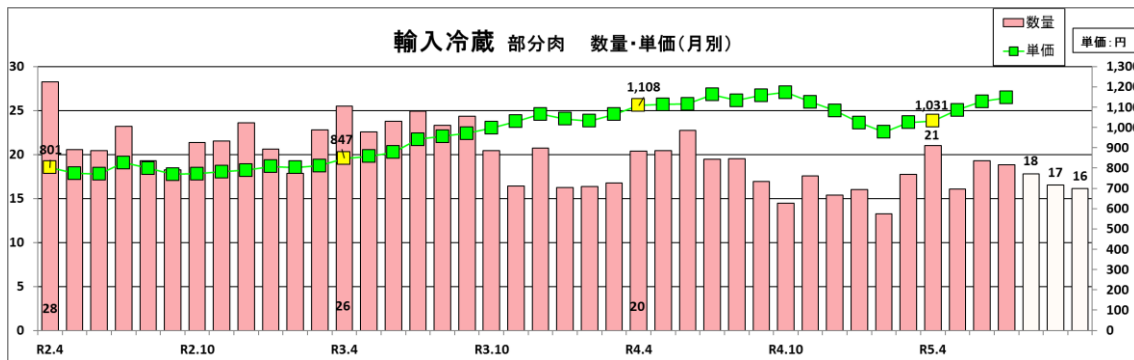
和牛去勢 A5等級 2,500円（税込み） A4等級 2,200円（税込み）

交雑去勢 B4等級 1,650円（税込み） B3等級 1,550円（税込み）

● 輸入牛肉

冷蔵品輸入量は、9月は、国内の需要低迷の他、米国産輸入量が現地価格の高騰もあり少なかったこと等から、前年同月をわずかに下回ると予測する。10月は、豪州産輸入量が現地生産量の増加による供給量の増加で多いこと等から、前年同月をかなりの程度上回ると予測する。なお、3カ月平均では、前年同期をわずかに下回ると予測する。

（ALIC牛肉の需給予測について9月27日）



食肉インフォメーション（9月）

●9月の動向

○牛肉

光熱費の高騰や食品全般の値上げにより、引き続き豚・鶏肉に末端消費が集中しており、比較的安価なウデ・モモは一定の需要があったが、ロイン系等の高級部位は苦戦となった。例年は彼岸明けから気温が低下し、スライス向けの肩ロース・バラの需要が増えてくるが、今年は残暑が長引いたことで伸び悩んだ。

○豚肉

9月も残暑による出荷頭数不足から高い相場を維持したが、比較的安価な小間用のウデ・モモは安定した売れ行きで、スライス用のロース・バラ等も行楽需要から好調となった。連休明けには出荷頭数の回復傾向から相場も落ち着き、全体的に堅調な売れ行きとなった。

●10月の動向予測

○牛肉

10月は残暑も落ち着き、気温低下に合わせて肩ロース・バラ等のスライス物の需要が伸びてくる予想。ロイン系は外食需要が回復傾向にあるものの、引き続き食品の値上げ等で末端消費が強くないことから苦戦となる見込み。

○豚肉

残暑が落ち着き、気温が低下するに伴い、鍋物用の需要増加から肩ロース・バラは堅調な売れ行きになると見込まれる。物価高騰による節約志向も続いていることから、ウデ・モモの需要も引き続き強い予想。

●業態別概況

表：全農いばらき食肉センター 業態別取引先実績（令和5年8月期） 単位：千円、%

年度	J A	どきどき	給食	仲卸	食肉 専門店	量販店	飲食店	合計
令和3年度8月	10,021	13,067	673	29,433	13,956	13,397	5,128	85,675
令和4年度8月	10,607	14,709	1,875	22,213	18,074	9,862	6,317	83,657
令和5年度8月	13,482	10,906	998	25,046	21,058	8,947	6,908	87,345
増減 (R5-R4)	2,875	-3,803	-877	2,833	2,984	-915	591	3,688
対比 (R3/R5)	135%	83%	148%	85%	151%	67%	135%	102%
対比 (R4/R5)	127%	74%	53%	113%	117%	91%	109%	104%